

雨で一日延期になりました。イノシシに掘られていた広場の溝で泥を掻き上げました。



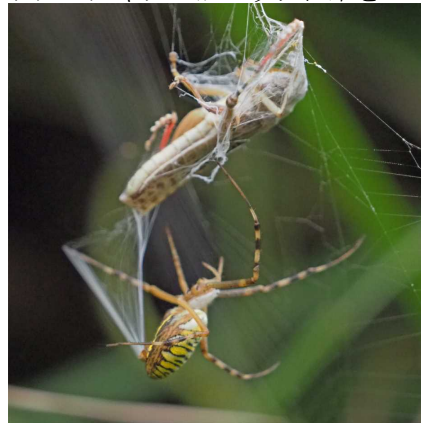
自然界から学ぶことは多い。ミカドトックリバチは泥を運んで壺を作り、中に卵を産み仮死状態のアオムシを入れ蓋をします。この壺の作り方を見て昔の人は土器を作ったと推測しています。ハチは壺の中で羽化した後、壺の横に穴を開けて外へ出ます。

ナガコガネグモは獲物が巣にかかると糸を吹きかけます。能の土蜘蛛はこれからヒントを得たようです。



ナガコガネグモがバッタに糸を・・・

能 「土蜘蛛」



ジョロウグモ



イヌセンボンタケ



ニガクリタケ (有毒)



鳥谷池 草刈り



周辺の鳥

29. ヤマガラ (シジュウカラ科)



30. スズメ (スズメ科)



周辺のチョウ

29. クロコノマチョウ (タテハチョウ科)



30. ゴマダラチョウ (タテハチョウ科)



周辺の鳥

31. キセキレイ (セキレイ科)



32. セグロセキレイ (セキレイ科)



33. ハクセキレイ (セキレイ科)



34. オオタカ (タカ科)



35. トビ (タカ科)

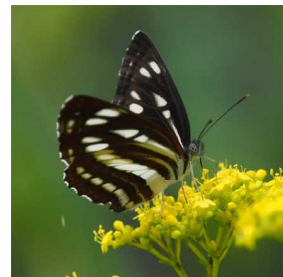


36. ノスリ (タカ科)

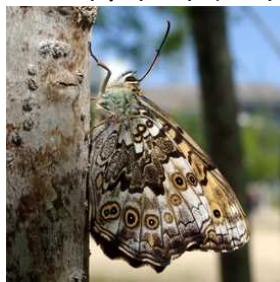


周辺のチョウ

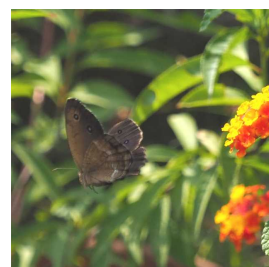
31. コミスジ (タテハチョウ科)



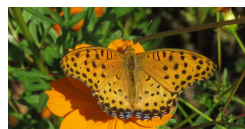
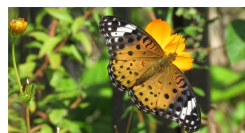
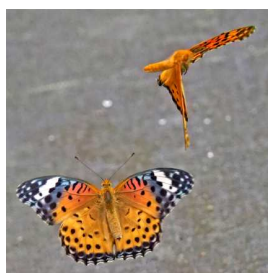
32. サトキマダラヒカゲ (タテハチョウ科)



33. ジャノメチョウ (タテハチョウ科)



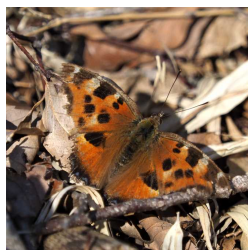
34. ツマグロヒョウモン (タテハチョウ科)



35. テングチョウ (タテハチョウ科)



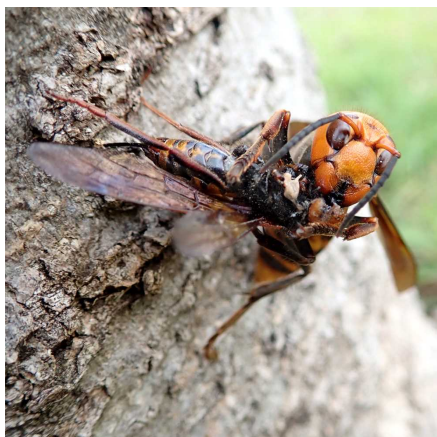
36. ヒドシチョウ (タテハチョウ科)



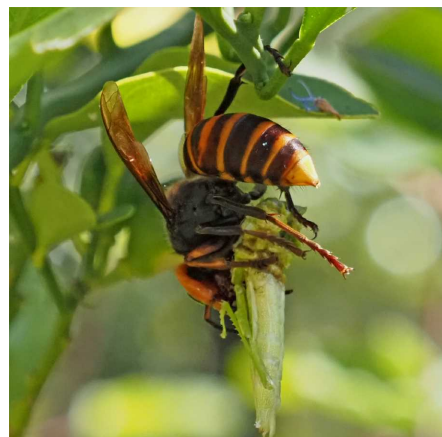
私はオオスズメバチ、巣の近くへ来ると毒針が待っているぞ！ 警告を無視して近づいたら容赦はしない、援軍も呼ぶぞ！・・・お腹が減ったなあ、そろそろ食べ物を探しに公園や庭に行こう。肉団子にする虫や樹液を探している時は人などには無関心だが手で振り払ったり急な動きをすると警戒するぞ！お腹が空いた仲間が来たらキスをして樹液を分けてやろう。・・・おや！そろそろ冷えてきたなあ、もうすぐ俺たちは死んでしまう、女王蜂を除いて・・・ああ、女王蜂になりたい！



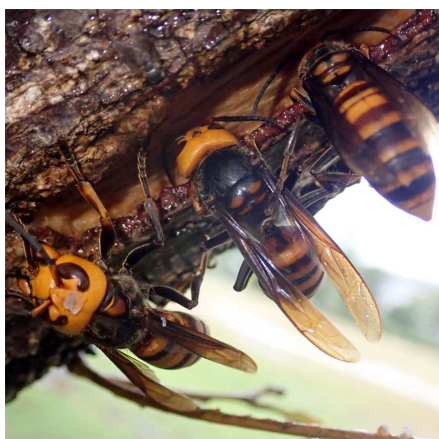
公園のエノキで狩りをする。



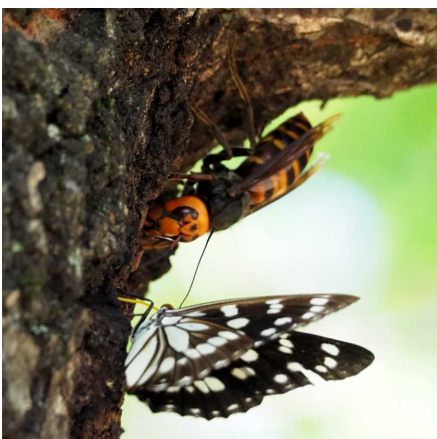
産卵中のヒラアシキバチを捕まえる。



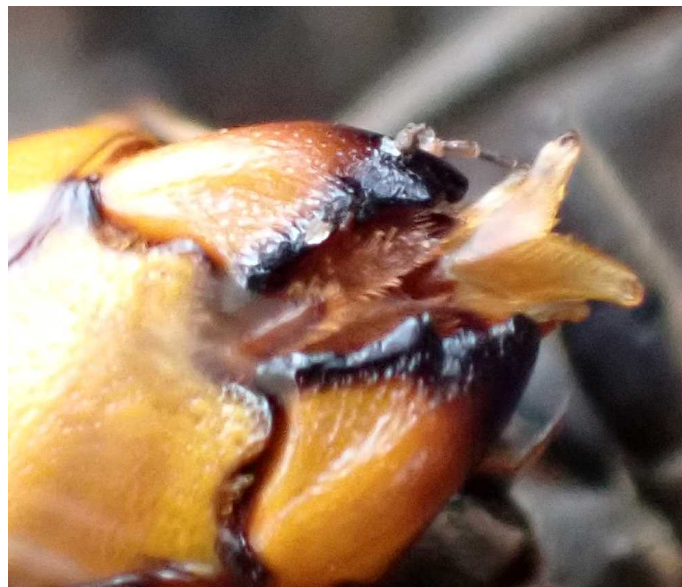
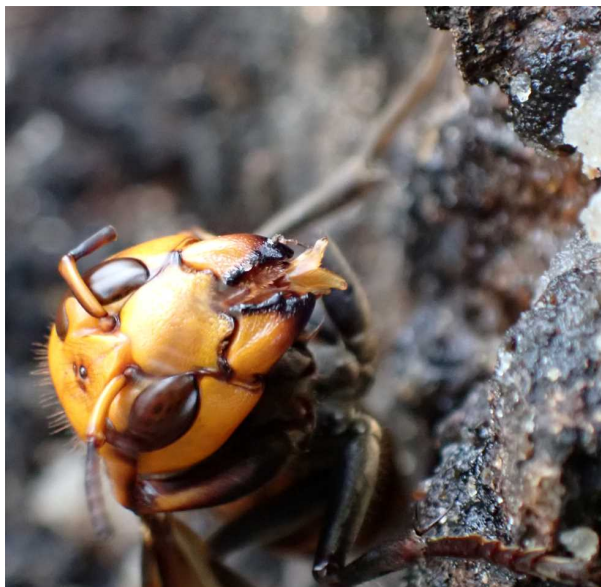
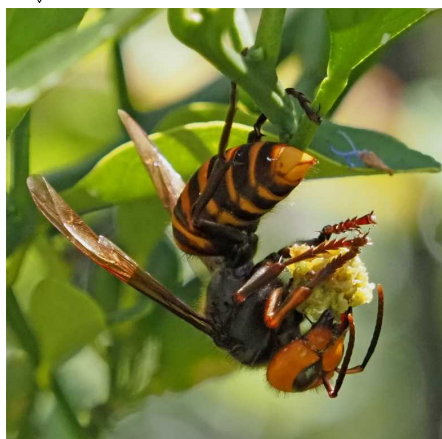
↓ パッタを肉団子にして飛び去る。



クヌギの樹液を求めて・・・



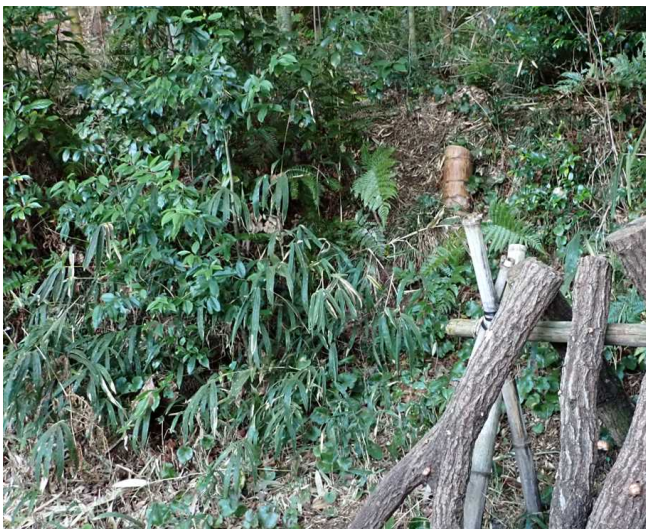
ゴマダラチョウと仲良く樹液を・・・



樹液を舐める時は舌を使うようだ。



空中でからみ、草地に降りて樹液を与える。時々休憩してまた与える・・・5分以上も！



正面の笹に近づくとオオスズメバチ！
すぐに退却し気温が下がる日の出前、静かにホダ木を別の場所へ。冬になるとハチの姿は消えました。



冬に笹を刈ると巣穴の跡。



オオスズメバチが死んだ後、アリが群がり、中の肉を巣に運ぶ。



注1：写真は全て精華町光台と周辺で撮りました。樹液を舐めたり虫を肉団子にしている時は数センチ以内で撮影しましたがハチは人に無関心でした。でも、油断は禁物です。ハチが出入りして巣がありそうな藪などには絶対に近づかないようにしています。

注2：参考文献 「 」内の文章は本から引用しました。

(1) 自然観察会におけるリスクマネジメント 発行：日本自然保護協会

「ハチは人を刺すために飛び回っているのではない。」

指に蜂蜜などを塗りスズメバチを止まらせゆっくり顔に近づけ記念写真を撮るプログラムを紹介しています。

(2) スズメバチ讃歌 塩澤義國著 発行：櫟

「蜂は悪者にあらず。」

著者の塩澤さんは体に蜜を塗り多くのスズメバチを体に止まらせた写真を載せています。上からじょうろでぬるま湯を注ぐとハチは飛び去る。

(3) スズメバチの真実 中村雅雄著 発行：八坂書房

「刺されないために・・・攻撃のサインを見逃すな！」

「私の願いは、スズメバチが人とトラブルを起こさず、共存できるようになること。そして、その日がやってくることを信じています。」

(4) 危険生物 武蔵野自然塾編 発行：文一総合出版

「ほとんどの生物は刺激しない限りいきなりおそってくることはない。」

「巣やハチを刺激したらひたすら逃げるしかない。」

自然体験プログラムで腕と頭を刺された体験談を載せています。

(5) ハチ 松本史樹郎監修 発行：技術評論社

「オオスズメバチは、地中や木の根、木のうろなどに巣をつくります。」

「巣の発達期には近づいただけでもおそってくることがあります。」